

2020年のアユの遡上状況

例年よりも遡上尾数は「多め」、遡上時期は「早め」と推定

これまでの調査結果から、米代川水系の常盤川（図1）における投網1回あたりのアユの採捕尾数が多い年は、全県的に遡上量が多いことがわかっています。2020年の投網1回あたりの採捕尾数は2.9尾/回（図2）でしたので、今期の遡上尾数は例年（0.5尾/回：2010～2019年の平均値）よりも多めと推定されます。

また、阿仁川の米内沢頭首工（図1）では、6月1日に今年初めてアユの遡上が確認されましたが、例年（6月13日：2010～2019年の平均値）よりも12日早いことや、漁協からの聞き取り情報でも早い遡上が確認されていることから、遡上時期は早めと推定されます。今後の天候が順調ならば、今シーズンのアユ釣りは好釣果となることが期待されます。

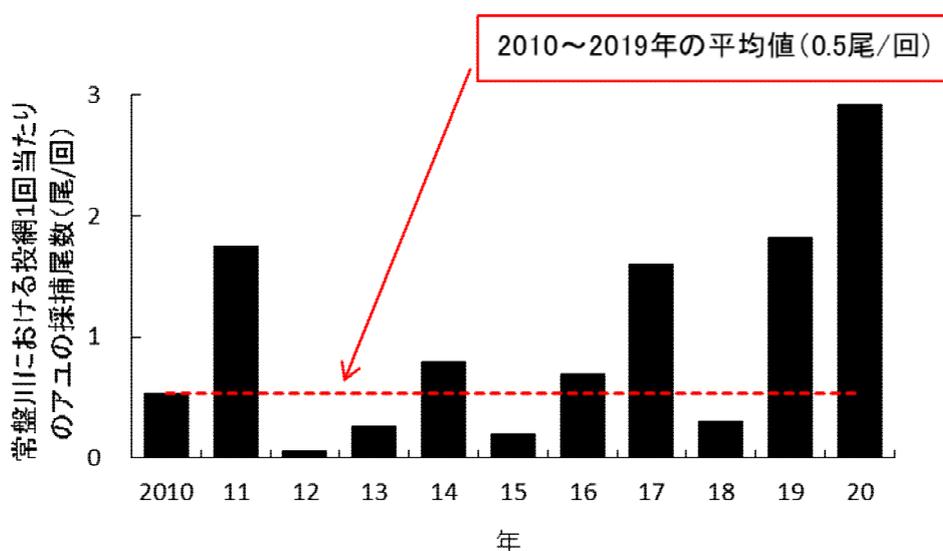
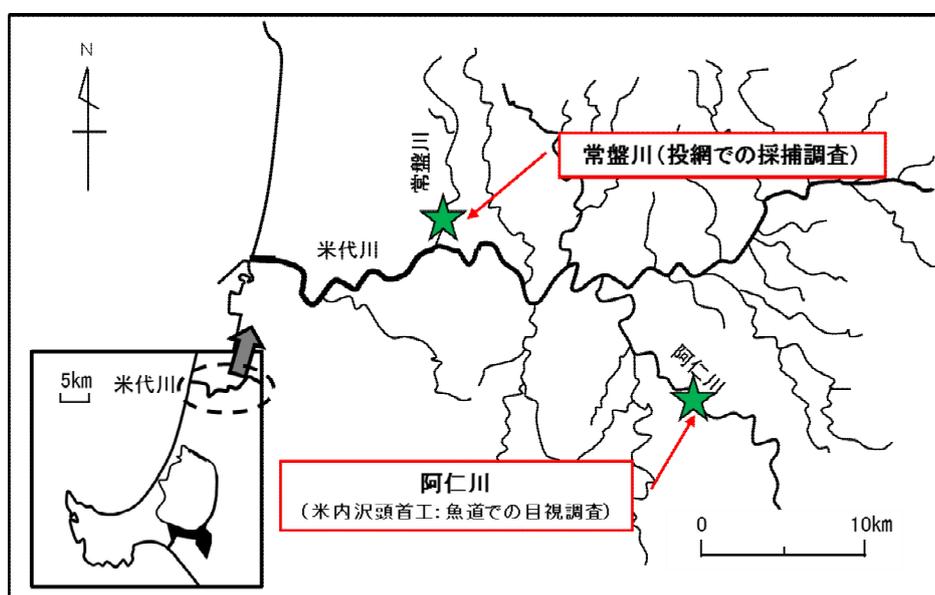


図2 常盤川におけるアユの採捕尾数